

平成 16 年度  
基礎理論研究会報告書

グローバリゼーションと  
農村社会・経済構造の変容

児玉 由佳 編

2005 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構  
アジア経済研究所

調査研究報告書

地域研究センター 2004 - IV - 14  
基礎理論研究会「グローバリゼーションと  
農村社会・経済構造の変容」研究会

## まえがき

本書は、平成 16 年度にアジア経済研究所で実施された基礎理論研究会「グローバル化と農村社会・経済構造の変容」の成果である。本研究会は、今後計画されている発展途上国の農村に関する研究会のための準備段階として発足した。本研究会では、グローバル化についての理解を深める一方で、どのような形で農村研究とグローバル化とを結びつけることができるのか、先行研究を参照しつつ検討をすすめた。

グローバル化は比較的新しい概念であり、広く流通する言葉となったのは 1980 年代以降であるが、現在すでにさまざまな意味合いと共に、多くの分野においてグローバル化という言葉が使われている。それは、グローバル化という現象が、急速に多岐にわたって経済・社会そして文化に大きな変化をもたらしつつあることを意味している。発展途上国における農村社会も例外ではない。特に、多くの発展途上国で進行しつつある経済自由化は、世界経済への直接の露出を高めるという点で、農村社会に大きな影響を与えている。

本研究会では、グローバル化の概念の検討を行ったあと、いくつかの個別具体的なテーマを取りあげて、現在の農村研究の動向を概観し、今後どのような形でグローバル化の概念と結びつけていくことができるのかを模索していくこととなった。既存の農村研究においては、グローバル化の影響について言及しているものが若干はあるものの、多くは農村と国家との関係分析にとどまっている。今後の研究においては、農村研究における視野をさらに拡大していく必要がある。

各委員がとりあげたテーマは、一次輸出品、緑の革命、農村工業、農業生産性など多岐にわたる。それぞれのテーマに基づいた分析から明らかとなったのは、農村社会が閉じた空間に存在するものではなく、周囲の社会と多岐にわたって有機的なつながりを持つことで、ダイナミックに変化していく存在であるということである。グローバル化と農村社会との関係を

考察する場合、この二つの関係だけに着目するのではなく、社会全体の構造へと目配りすることも重要となるであろう。

最後に、本研究会の運営に協力いただいた諸氏に謝意を表したい。原島梓氏はオブザーバー参加であったが、アフリカ農業に関して寄稿していただくこととなった。また、各執筆原稿に対して建設的で有益なコメントをくださった重富真一氏には深く謝意を表したい。村瀬幸代氏(上智大学大学院)、岡本郁子、山田七絵、津田みわ、伊藤成朗、久保研介、佐藤章、今泉慎也、平野克己、望月克哉、福西隆弘、高根務の各氏には、研究会において活発な議論を展開していただいた。記して心より感謝申し上げる。

2005年3月

「グローバル化と農村社会・経済構造の変容」基礎理論研究会

主査 児玉由佳

# 目 次

第1章 グローバリゼーションに関する概念整理 発展途上国の農村社会との関係分析に向けて 児玉 由佳	1
はじめに	1
第1節 グローバリゼーションと近代	2
第2節 グローバリゼーションと国民国家の変容	4
第3節 発展途上国とグローバリゼーション	6
1. アフリカ	8
2. 東アジア	9
3. ラテンアメリカ	10
4. アラブ諸国	12
おわりに 発展途上国の農村におけるグローバリゼーションについて の考察にむけて	13
第2章 ラテンアメリカ小農のグローバリゼーション 非伝統的輸出農産物の拡大 清水達也	19
はじめに	19
第1節 新自由主義政策の推進	21
1. マクロ経済への影響	21
2. 農業部門への影響	22
第2節 非伝統的輸出農産物の拡大	23
1. 拡大の背景	23
2. 不安定雇用の増加	23
3. 小農の優位性	24
4. 生産者の淘汰	25

第3節 農村の対外依存度の拡大	27
1． ローカル市場解体の三局面	27
2． ラテンアメリカ農村への適用	29
3． 非伝統的輸出農産物の拡大と「再生産包摂」	29
おわりに	30
第3章 発展途上国農村の変容	
東南アジア先行国の経験	
天川 直子	35
はじめに	35
第1節 「緑の革命時代」	36
1． 「緑の革命」という事業	36
2． 「緑の革命」の貢献・影響	38
3． 労働力の調達	40
4． 小括	42
第2節 「ポスト緑の革命時代」	43
1． 「脱農業化」概念の検討	43
2． 農外就労機会の増加	45
3． 米作への自家労働力投入の減少	47
4． 農業の構造変化	48
5． 小括	50
おわりに	51
第4章 農村工業に関する議論の整理	
荒神 衣美	55
はじめに	55
第1節 農村内リンケージ論	56
第2節 都市リンケージ論	58
第3節 地場産業論	60
おわりに	61

第5章 アフリカ農業の低生産性に関する考察	
原島 梓	67
はじめに	67
第1節 経済的アプローチ	69
1. インフラストラクチャーの未発達	69
2. リスクの存在	72
第2節 政治社会的アプローチ	74
おわりに	75

本報告書の執筆者は以下の通りである。

児玉 由佳 地域研究センターアフリカ研究グループ（主査）  
清水 達也 地域研究センターラテンアメリカ研究グループ（幹事）  
天川 直子 地域研究センター東南アジア II 研究グループ  
荒神 衣美 地域研究センター東南アジア II 研究グループ  
原島 梓 地域研究センターアフリカ研究グループ

